

## 社内起業プログラム第2期の最終審査通過案件を決定

三菱HCキャピタル株式会社(代表取締役 社長執行役員:久井 大樹/以下、当社)は、このたび、「10年後のありたい姿」に掲げる「未踏の未来へ、ともに挑むイノベーター」の実現に向けた、新ビジネスの開発加速を図る取り組みの一つである「Zero-Gravity Venture Lab(以下、ゼログラ)」における社内起業制度「ファウンダープログラム」第2期の最終審査を行い、通過案件を決定いたしました。

今後、当該案件はプレ事業化検証、事業化検証を経て、2026年度までに事業会社の設立をめざします。

### ■「ファウンダープログラム」第2期最終審査通過案件

#### オフサイトエコフィードサービス

大手食品メーカーから排出される食品廃棄物から飼料(エコフィード)原料を製造し、養豚場に提供することで、食品廃棄に関わるCO<sub>2</sub>削減や飼料自給率の向上に貢献するビジネスアイデア。食品廃棄物の処分に課題を抱える食品メーカーと、飼料を安定的に確保したい養豚場双方を支援することで、サーキュラーエコノミーにも貢献する社会的意義が高い取り組みである点を評価。



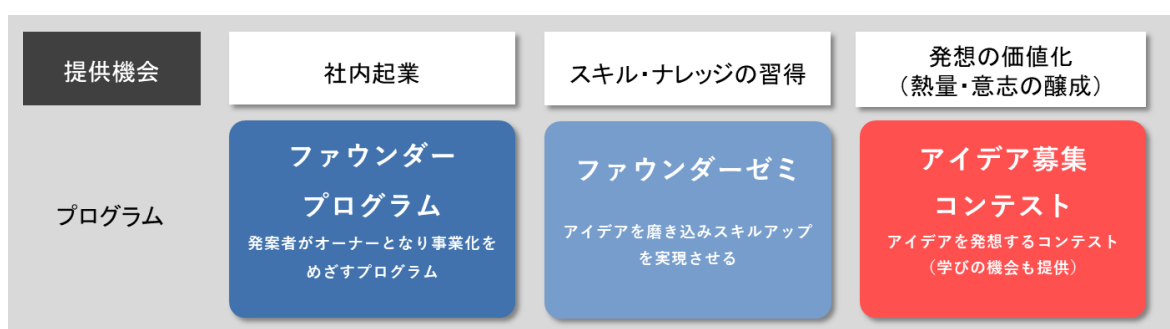
2024年10月に行われた最終審査の様子

2023年度から開始した「ファウンダープログラム」は、発案者自身が新会社の責任者となることや新会社への自らの出資を可能としており、社員の自己実現および新ビジネス開発の双方を推進しています。昨年度の第1期\*は2件の最終審査通過案件を決定しており、現在、事業会社設立に向けた事業化検証を実施しています。

第2期となる今年度は、第1期と同様に外部からの有識者に加え、新たに当社の営業組織の役員、管理職からも審査員を選任し議論を重ね、18組(25名)の応募から最終審査通過案件を決定しました。

ゼログラは、社員の自由な発想と熱意を起点に、既存事業の延長にはない新たな視点から、独自性と進取性のある事業を連続的に創出する取り組みです。当社は、「2023～2025 年度中期経営計画(2025 中計)」において、「変革を促す仕組み」の確立を掲げています。現在、変革を生み出す仕組みの構築、ならびにそれらを生かした変革の促進を図っており、ゼログラをその実現に向けた仕組みの一つに位置づけています。

ファウンダープログラムのほかにも、外部専門家の指導により、ビジネスアイデアに磨きをかける「ファウンダーゼミ」、ビジネスアイデアの発想に価値を見出し、その発想を習慣化することを目的とした「アイデア募集コンテスト」も開催しています。直近で開催されたアイデア募集コンテストでは 52 件のアイデアが集まり、そのアイデアの中からファウンダープログラムへの応募案件も誕生しました。



今後は、変革を生み出す仕組みである各プログラムをさらに充実させていくことに加え、ファウンダープログラム通過案件の事業化に向けた検証を着実に推進していくことで、新ビジネスの開発を加速させていきます。

\* 2023 年 12 月 15 日付ニュースリリース「社内起業プログラム第 1 期の最終審査通過案件を決定」  
<https://www.mitsubishi-hc-capital.com/investors/library/pressrelease/pdf/2023121501.pdf>

### ■三菱HCキャピタルグループについて

三菱HCキャピタルグループは、「未踏の未来へ、ともに挑むイノベーター」を「10 年後のありたい姿」に掲げ、その実現に向けて、祖業のリースはもとより、有形無形のアセットの潜在価値を最大限に活用したサービスや事業経営などに取り組んでいます。「カスタマーソリューション」「海外地域」「環境エネルギー」「航空」「ロジスティクス」「不動産」「モビリティ」の 7 つのセグメントのもと、連結総資産は約 11 兆円、連結従業員は約 8,400 人を擁し、世界 20 カ国以上で事業を展開しています(2024 年 3 月末時点)。

わたしたちは、絶えず変化する社会や事業環境の変化を先取りし、お客さま・パートナーとともに新たな社会価値を創出することで、社会的課題の解決、ひいては持続可能で豊かな未来の実現に貢献していきます。

詳しくは、三菱HCキャピタルのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-hc-capital.com/>

■本件に関するお問い合わせ先

三菱HCキャピタル株式会社

コーポレートコミュニケーション部

〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号

TEL 03-6865-3002 (直通)

以上